

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【公開番号】特開2018-16550(P2018-16550A)

【公開日】平成30年2月1日(2018.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2018-004

【出願番号】特願2016-145652(P2016-145652)

【国際特許分類】

A 0 1 N	59/08	(2006.01)
A 6 1 L	2/18	(2006.01)
A 0 1 P	3/00	(2006.01)
A 0 1 N	59/00	(2006.01)
A 0 1 N	25/02	(2006.01)
B 0 8 B	3/08	(2006.01)
A 6 1 L	101/06	(2006.01)

【F I】

A 0 1 N	59/08	A
A 6 1 L	2/18	
A 0 1 P	3/00	
A 0 1 N	59/00	A
A 0 1 N	59/00	Z
A 0 1 N	25/02	
B 0 8 B	3/08	Z
A 6 1 L	101:06	

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月2日(2018.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

pH = 5 ~ 6 及び有効塩素濃度 100 ~ 1,000 mg / L の次亜塩素酸水溶液である第1薬剤を、カビが発生した建築物の内外装及び調度品・備品などの処理対象物の処理対象領域表面に噴霧する第1薬剤噴霧工程と、

前記第1薬剤噴霧工程後にこの噴霧した領域を風乾する第1風乾工程と、

前記第1風乾工程後に、前記処理対象領域表面に、pH = 7 ~ 8 及び有効塩素濃度 100 ~ 1,000 mg / L のモノクロラミン水溶液である第2薬剤を噴霧する第2薬剤噴霧工程と、

前記第2薬剤噴霧工程後にこの噴霧した領域を風乾する第2風乾工程と、
を有することを特徴とする有色カビの除去方法。

【請求項2】

前記第1薬剤噴霧工程と、前記第1風乾工程と、前記第2薬剤噴霧工程と、第2風乾工程とを汚れの程度に応じ複数回繰り返すことを特徴とする請求項1に記載の有色カビの除去方法。

【請求項3】

前記第2風乾工程後に、前記第1薬剤を前記処理対象領域が湿る程度に噴霧した後、前

記第1 薬剤を浸み込ませた布又はペーパータオルで浮き出た有色のカビ残渣を清拭する清拭工程を有することを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の有色カビの除去方法。